

# 広報 おばま

《表紙》

廣峰神社の例大祭「小浜祇園祭」が7月14日と15日に行われ、4基のみこしが市内を威勢よく練り歩きました。このうち7月14日には、府中区の廣峰神社で「鎌取神事」が営まれ、区民らが竹の先に飾りつけた木製のかまを奪い合いました。かまは、五穀豊穡などを願って家の玄関に飾られます。

【特集】

さらなる ごみ分別にご協力を

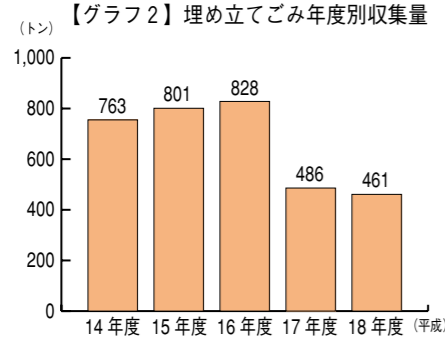
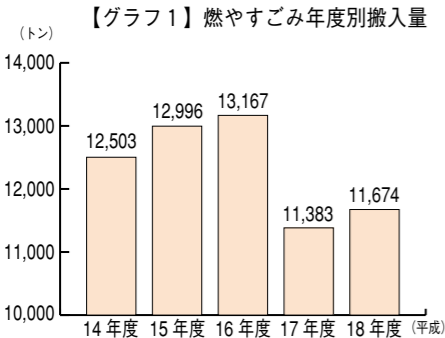
2007

8



さらなる

# ごみ分別にご協力を



《その他紙》  
…新聞、雑誌、ダンボール以外の紙類  
《その他プラ》  
…ペットボトル以外のプラスチック類

燃やすごみの中身、  
五十五%は「資源ごみ」

上記グラフのとおり、分別収集によって多くのごみを減らすことができましたが、平成十八年度のごみ質検査では、燃やすごみのうち約五十五%は紙・プラスチックなどの「資源ごみ」だったことがわかりました(グラフ4を参照)。

今一度「ごみの分け方ルールブック」を確認し、分別にご協力ください。

埋め立てごみは減少、燃やすごみは微増

平成十八年度中の「燃やすごみ」の搬入量は11、674トで、市民一人当たり359キロ、「埋め立てごみ」の収集量は461トで、市民一人当たり14キロでした(グラフ1、2を参照)。

昨年度と比較すると、「埋め立てごみ」は25ト(▲五・一%)減少しました。分別が進んだことで減少したのと思われれます。

逆に、「燃やすごみ」は291ト(二・六%)の増加となりましたが、これは自然増が主な原因と考えられます。

ごみの量は減少しても減らないごみ処理経費

平成十八年度中のごみ処理経費は約四億五千八百万円で、市民一人当たり換算すると一万四千円かかった計算になります。ごみの量は減少しているのにも関わらず、ごみ処理経費は少しずつ増加しています(グラフ3、表2を参照)。

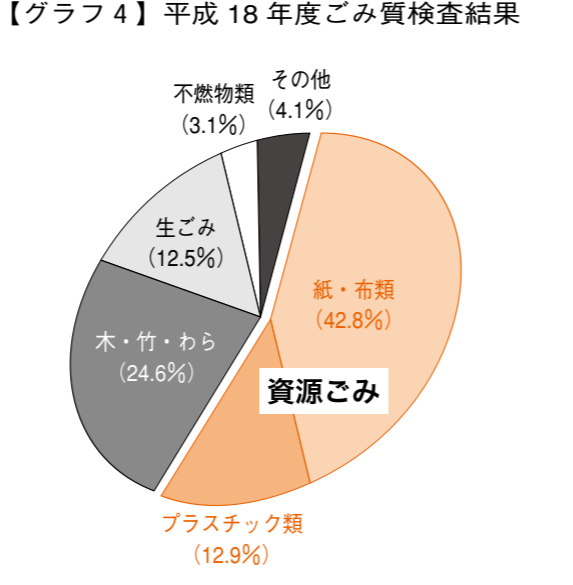
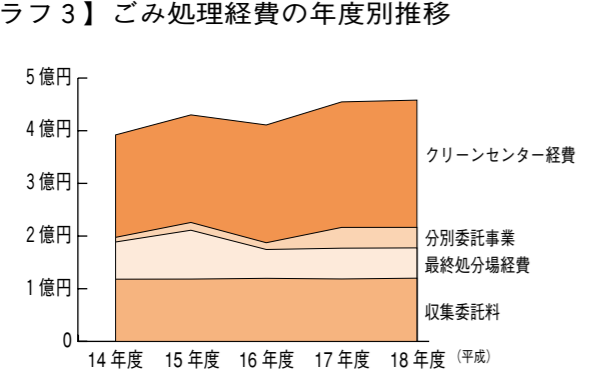
その要因として、

- ①分別収集開始に伴う収集車と人員の増加
- ②クリーンセンターの大規模修繕

があげられます。

②について、クリーンセンターでは現在、二基の焼却炉を十六時間運転してごみを焼却しているため、多額の修繕費が必要になってきています。

燃やすごみが減少すると一基運転での処理が可能になります。運転経費はもちろん、修繕費も減少するため、ごみ処理経費の削減が期待できます。

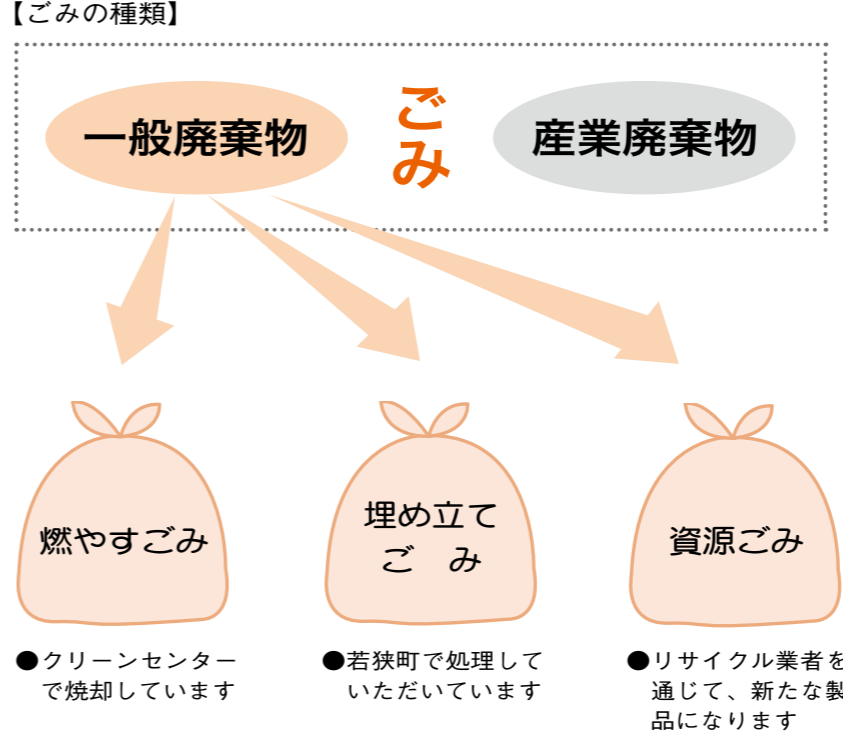


【表2】平成18年度ごみ処理経費

クリーンセンター処理経費	2億4,164万円
分別委託事業	3,893万円
最終処分場経費	5,751万円
収集委託料	1億2,003万円
計	4億5,811万円

(市民1人当たり)  
4億5,811万円 ÷ 32,500人(小浜市の人口) = **14,100円**

※ごみ質検査…毎年4回、クリーンセンターに持ち込まれた「燃やすごみ」を無作為に抽出し、その中身を検査しています。



【表1】平成18年度資源ごみ収集量

種類	収集量
その他プラ	290ト
その他紙	221ト
新聞・雑誌など	420ト

平成20年4月導入予定  
「燃やすごみ」の指定袋

資源ごみの分別収集については相応な成果がありましたが、燃やすごみの中には「紙、プラスチック類」などの資源ごみがまだ半分以上含まれています。この資源ごみを分別していただくことで、ごみの減量化がさらに進みます。

また、燃やすごみをダンボール箱に入れて出される方がいますが、ダンボール箱も立派な資源ごみです。ごみとして出すのではなく、「古紙類（※）」として出してください。

このようなことから市では、ごみ減量化の取り組みをさらに進めるため、平成二十年四月を目標に「燃やすごみの指定袋導入（半透明）」を考えています。現在、「小浜市ごみ減量検討委員会」で、導入に向けた話し合いが続けられています。

（※）古紙類も収集は行いますが、できるだけ小学校



ダンボール箱に燃やすごみを入れて出すのはやめましょう

PTAや子ども会が実施する資源回収に出していただきますようお願いいたします

ちよつとした心がけが大きな減量につながる

ごみを減量するには、ひとりひとりの意識が大事です。「これぐらいいいだろう」「面倒くさいなあ」と思っているのはごみは減りません。

「ひとりひとりのちよつとした心がけ→ごみの減量↓地球環境を守る」  
ごみの分別にぜひご協力ください。

### ●ごみの分別、出し方について、もう一度確認してください●

発泡スチロール、緩衝材は「**その他プラ**」

汚れている**その他プラ**は「**水洗い**」してから指定袋へ

アルミコーティングされた銀色の**プラ**・紙製包装は「**燃やすごみ**」

スプレー缶は必ず「**ガスを抜いて**」  
その他金物・スチール缶の指定袋へ

レンジパネル、鍋焼きうどんの容器などアルミ製品は「**その他金物**」

粗大ごみは「**施設へ直接**」持ち込んでください

地球温暖化ストップ県民運動「**LOVE・アース・ふくい**」  
「**わが家・わが社のエコ宣言**」を募集  
県と福井県地球温暖化防止活動推進センターでは、「冷暖房の設定温度を控える」「エコドライブを実践する」など、地球温暖化防止に向けて取り組む家庭や事業所を募集しています。

【応募方法】  
①所定の用紙、またはインターネット（※）からダウンロードした申込用紙を記入し、送付またはFAXで②インターネットの申し込みフォームで  
（※）福井県環境政策課のホームページにリンクを張っております。

■応募、問い合わせ  
〒91010004  
福井市宝永三丁目三ノ一  
福井県地球温暖化防止活動推進センター  
☎0776・30・0092  
FAX 0776・20・0302

9月1日は**環境美化デー**！  
行政、市民、事業所が三位一体となり、もてなしに通じる日本一美しいまちづくりを目指すため、九月の第一土曜日を「環境美化デー」としています

## 市民171人に委嘱

# 「小浜市環境美化推進員」

小浜市環境美化推進員は、清掃行政の円滑な運営およびごみの分別排出と減量化を推進することで、快適な生活環境を保持することを目的として、平成9年度から設置されています。

7月11日、働く婦人の家で委嘱式が行われ、平成19・20年度の推進員171人に委嘱状が渡されました。



平成13年度から小浜市環境美化推進員として活躍する  
しげた しゅんべい  
**重田 俊平** さん  
(生守区)

「環境美化推進員は区長推薦ですが、当時区長だったわたしは、人を推薦するのは悪いと思ったので、それならば自分でやろうと引き受けることにしたんですよ。それからずっとさせてもらっています」

「主な役目は、ごみ集積所の管理ですね。恥ずかしながら、初めのうちはとても汚かったんですが、最近ではみんなの意識が変わってきたのか、美しくなってきたと思います。若い人も分別に協力的ですよ。あと、野焼

きが減りましたね」と重田さん。

「今、地球温暖化を止めないとたいへんなことになります。そのために、ひとりひとりができることをやらないと。わたしも、買い物に行っても袋はもらわないようにしていますし、ごみの分別は徹底的にやっています。だれにでもできることなので、皆さんもぜひ実践していただきと思います。地球環境を守るために、ごみの減量化に努めましょう」

## 「公立小浜病院の重油流出」について

本年三月、公立小浜病院でボイラー室につながる埋設油送管の破損による重油流出が判明しました。

調査の結果、流出した重油のほとんどは、病院敷地内特にアクル若狭の地下にたまっており、現在、油分の回収作業に全力で取り組んでいるところです。

このような中、六月二十三日から二十四日にかけての降雨による地下水の急な上昇により、アクル若狭の地下に設置してある重油調査のための観測井戸とコンクリート床面の目地部分から、油分を含んだ地下水が地下ピット内にしみ出しました。その水が自動排水ポンプによりくみ出され、竹原5号下水路を経て小浜漁港船だまりに流れ出しました。

地域住民の皆さん、関係者の皆さんには、多大のご心配とご迷惑をおかけしたことについて、あらためて深くおわび申し上げます。

お問い合わせをいただいております、津島区や一番町区などの地下水については、専門業者による地質調査の結果、油分が確認された深さが地表から一・五〜四・〇メートルであることに加え、毎日実施している水質検査でも異常がないことを確認しています。安心してご利用ください。

今後は、重油が拡散しないよう万全の対策を講じていきます。

公立小浜病院院長 小西淳二